
しろはく活動記録

古地図と城の泉 第40号

陸軍省城絵図精査新事実多数発見

首里城漆絵屏風二曲半双

旧国宝丸岡城天守写真と古材

桜井成広旧蔵岩国(横山)御城図

幻の書『田辺の城阿登』『田辺籠城記』

平成28年11月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査

博物館事業報告

1・陸軍省城絵図出版に伴う絵図精査で新事実続出・絵図の公開は来年の絵図集出版で

明治5年陸軍省城絵図、城郭存廃絵図については基本、その検証を各地教育委員会と研究者にゆだねる方針で、これまで目録作りでとどめ、各地教育委員会に公開してきた。今回、戎光祥出版さんの絵図出版に際し、124枚に及ぶ陸軍省城絵図のプロカメラマンさんの撮影を6人がかりで行い、編集段階で絵図解説を求められた。当初絵図の公開のみで解説の予定はしていなかったが、絵図が手元にあるため、お受けすることとした。簡単に考えていたが、絵図を1枚ごとに広げ、城郭名の標準化、現在地の確認、既存絵図との照合による縄張調査、曲輪の名称確認と予期していない大仕事になった。しかし、過去に記録のない絵図があったり、絵図タイトルを図面表示よりわかりやすい一般的な名称に変更と約半月の力仕事となった。救われたのはほとんどの城郭資料が同じ部屋にあり、容易に出し入れすることが出来た。ただ、膨大な資料を出してはしまいと周りは本の山である。緻密な編集作業をしていただき、全体図、要所拡大図と出来るだけ利用できるように工夫していただいている姿に覇気を感じ、後世に残る仕事となるよう心しました。残りの少ない各地陣屋図や仙台藩の要害絵図が多いことに今更びっくり、仙台領内要害絵図集を探し出すのに一週間と、物覚えの悪さにあきれました。要害調査だけで、絵図集と仙台領内古城館の研究全4冊、仙台城と仙台領の城要害、城郭陣屋要害台場事典、日本城郭大系と陸軍省絵図

の内容、現状、履歴調査にひと苦勞。中にはオンリーワンの絵図もあり、地元教育委員会に感謝されましたが、体調を崩した中で大仕事でした。10月14日約3分2処理、ただ、後は大型絵図のため一人で広げることが出来ず難渋しそうです。

新事実の一旦、中身は来年**出版にご期待ください**。

舞鶴砲台絵図 舞鶴市教育委員会では未発見とのこと。

恵利原陣屋絵図 あらゆる城郭文献に記載なく、鳥羽藩の海防陣屋でした。海防陣屋絵図は毛利藩、岡山池田藩が手元にありますので、何れ比較検証します。

徳川家が駿河移封に伴う、幕末房総半島移封諸藩の城郭絵図、例えば、松尾城600分I実測図等
仙台藩の要害絵図、所絵図 当初中世古城図と思われた絵図に幕末まで利用されたこれらが含まれました。幕末まで残され機能した中世古城遺構の数々。

森陣屋絵図と角牟礼城絵図 来島海賊が陸に上げられた森陣屋と、おそらく唯一の角牟礼城絵図です。

中津城本丸二の丸城内詳細図 城内建築の廃却工程を詳細に表示、中津城内建築絵図はほとんど見られない。

篠山城に謎の二ノ丸3重櫓、天守替わりの建築、今影も形もない。石垣ともに遺構も崩壊か。又、二の丸御殿間取図は幕末の間取を知る唯一の絵図である。

笠間文武館絵図は最も詳細な笠間時習館間取り図であった。

明治5年福知山城天守各層実測図

但馬出石城跡県庁絵図 不明絵図解明以下

兵庫県出石町、幕末は仙石氏3万石。県庁絵図、元禄年間松平伊賀守居城之砌造營之趣申伝とある。元禄に松平伊賀守を名乗る人物は出石城主松平忠周のみであり、調査の結果、102出石城跡略図に見える三之郭東北角にある県庁と平面が一致した。本図は出石城跡県庁絵図である。番所、聴訟場、評席場があり、建築平面図である。77 x 167 cm、絵図検索番号29。

2・旧国宝丸岡城天守古写真・古材? 丸岡町長田写真館 南面・北面 21 x 27 cm x 2枚 昭和23年北陸大震災における倒壊以前の旧国宝天守である。撮影時期が明記されていない、正確な年代は確定しない。同時に天守古材を入手したが、修理報告書を見ても見当が付かない。一部には墨書きがあり、『二ノ隅庇撫木止枘』とある。古材ではあるが、添付されている丸岡城天守閣の紙片が信頼できるか判定できない。





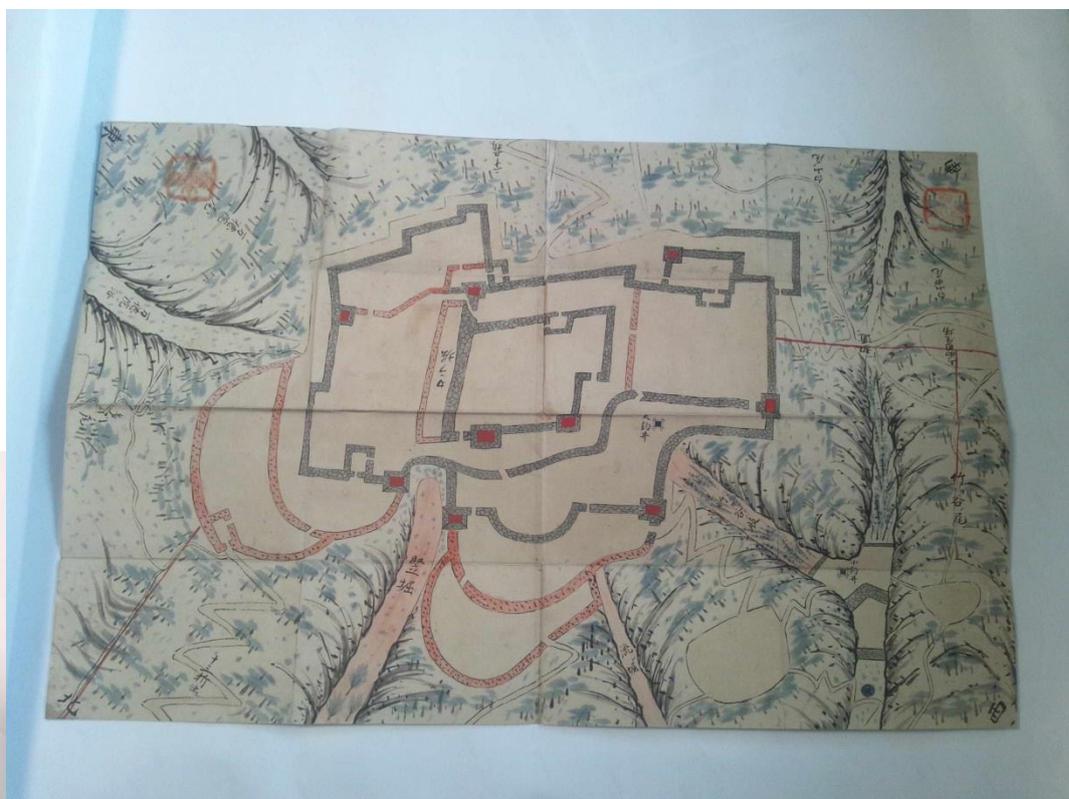
金具付



墨書き有

3・桜井成広旧蔵横山御城(岩国城)絵図

特徴的な縄張であり、横山御城図とある。調査の結果、岩国徴古館所蔵岩国城平面図と近似し、岩国城山頂縄張と判明した。横山は築城された山の名前である。縄張、塹堀の描き方等兵法の理解者による絵図である。縄張に見覚えがあったが、裏付けする絵図が探し出せずに判明に数日かかった。この山頂部は元和元年に一国一城令により廃城となり、山麓は岩国吉川氏の陣屋となり、明治元年岩国城となったが、明治5年廃城となった。



4・陸軍省城絵図高槻城検証高槻市文化財年報に掲載、高槻市教育委員会中西祐樹さん

平成25年3月に調査に来られた中西さんが陸軍省城絵図高槻城と伝来絵図との比較検証をしていただいた。内容は高槻市文化財年報平成26年度版に掲載された。中西さんが土塀の色について、本丸と他の曲輪の差と言われたが、実際は他の絵図にもあるが現存建築を白、破壊された建築は赤茶色で表現されていた。各絵図の詳細な検証は各地教育委員会にお願いする他無く。これまでも大分市、西尾市、田辺市や長野県下教育委員会が調査されている。

5・舞鶴砲台絵図と幻の田辺の城阿登・田辺籠城記

陸軍省城絵図の調査の中で舞鶴砲台について、近代の舞鶴要塞の資料は出てきたが、幕末、舞鶴台場の資料は過去のいかなる文献にも見られず、お手あげ状態で、舞鶴市資料館にお尋ねした。地元絵図が残されていれば、場所が確定できるためであった。学芸員小室智子さんにご教示いただき、市史のコピーもお送りいただいたが、台場の資料はこれまで発見されておらず、場所の確定に到らなかった。ということで舞鶴田辺城に思いが行き、60年間見ない2冊の資料の紹介を思い立った。おそらくどこにも所蔵されてなく、忘れ去られる運命と思われた。舞鶴市資料館には舞鶴砲台の写真を提供した。

2冊の貴重書は40年前に元陸軍参謀本部築城史編纂委員会中山光久大佐よりいただいた。

田辺籠城記 昭和9年9月10日舞鶴要塞司令部編 孔版印刷 本文10頁 中山私物とある。内容は舞鶴領司沿革・田辺籠城記・田辺城（舞鶴）附近之図・田辺城之図・最近之舞鶴市街図 田辺城（舞鶴）附近之図は77 x 92 cm、孔版印刷に手彩色、城と城下町を描く。

田辺城之図は39 x 54 cm、孔版印刷に手彩色、縄張図に堀巾、石垣長さ、二ノ丸に4層の大草櫓、多くの城門を立面表示、

最新之舞鶴市街図は昭和7年舞鶴町役場発行舞鶴地図、6000分1、39 x 54 cm

田辺の城阿登 昭和10年新春はしがき舞鶴要塞司令部白峰外史 孔版印刷 本文74頁 内容は古城と日本精神・日本近代城制の概要・田辺の築城・田辺の籠城・籠城にからまる逸話の2、3・京極氏の入城と其の事跡・牧野氏と田辺城普請・名城の現況

附図第1 田辺（舞鶴）城の図、延宝9年当時、49 x 70 cm 修理図縮図、舞鶴町大瀧氏所蔵 田辺籠城図49 x 54 cm瑞光寺所蔵図明治33年写 2枚共青焼き

第2 田辺（舞鶴）城附近一般図、明治初年、79 x 89 cm 孔版印刷

6・高崎市箕輪支所地域振興課、箕輪歴史文化調査研究会来場

当文庫所蔵箕輪城図調査に来場、慶長に廃城となった箕輪城について作事にかかわる資料はないとお断りしたうえで、江戸中期の箕輪城調査絵図を浅野文庫諸国古城図との比較で紹介、同系統絵図は参謀本部城塞繹史にも収録。軍学上の箕輪城絵図2種、箕輪城絵葉書をご覧に入れた。絵葉書については現地を確認の上好評と考えていたが、さすが箕輪からの来場、大体、どこからの撮影か理解されていました。これは『絵葉書に見る織豊城郭中世城郭の景観』以降の収蔵でした。お土産に安中の展示会図録とポスターを差し上げました。箕輪城も箕輪町の高崎市合併前は長野氏が中心、合併後は井伊直政研究も盛んになったそうです。

7・浜松市博物館井伊谷大明神家伝来古絵図古記録、陸軍省浜松城絵図調査来場

浜松市博物館、文化財課、一橋大学で井伊谷研究をされている夏目さん、夏目さんを中心に膨大な記録を片っ端から見てくださいました。NHK大河ドラマおんな城主井伊直虎特別展の企画書や平成28年度浜松市博物館テーマ展井伊直虎と湖北の戦国時代展の企画書をいただきました。井伊谷資料の半数以上はここにあるようです。来年の事業にお役に立てば幸いです。

8・真田氏歴史館入場者62000人

9月30日に終了した大坂冬の陣展の入場者が半年で62000人を記録した。大河ドラマ恐る

べし。通年の倍以上の入場者とのことでした。来年のおんな城主井伊直虎読み難し。

9・首里城漆絵屏風二曲半双

首里城守礼門と那覇港三重グスクが描かれている。



新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

1・古絵図・古地図

富士身延鉄道沿線名所鳥瞰図 初三郎 昭和3年 18 x 76 cm

静岡市を中心とせる名所図絵 初三郎 昭和5年 18 x 77 cm

最新札幌案内 昭和6年 札幌市及び附近略図 40 x 54 cm
丹那墜道開通之熱海温泉 初三郎 絵葉書
塩原温泉名所図絵 初三郎 18 x 77 cm 大正9年
日本鉄道線路 明治40年 26 x 108 cm
神奈川県宮ヶ瀬村土地台帳 大形彩色絵図16枚 明治22年 現愛甲郡清川村宮ヶ瀬 津久井
の南にあり、宮ヶ瀬湖により水没
大日本三景丹後国天橋立之絵図 木版
東京市区改正予定図 明治21年 毎日新聞付録 石版色刷
小松電機内川電気事業一覧図 大正12年
官幣春日大社御神楽之図 明治24年 石版色刷 春日神社々務所
出雲国清水寺之図 石版 袋付 2枚
京都伏見官幣大社稻荷神社細見図 明治22年 銅版
豆州修善寺温泉場全図 銅版色木版刷 明治21年
播磨国石宝殿真景 木版 明治27年
元暦元年三月屋島檀浦源平合戦図 明治27年 石版
大日本帝国淡海国多賀神社全図 明治28年 石版 精行社銅版部 袋付
摂津紫雲山中山寺伽藍修理予定見取図 石版 袋付
大日本帝国信濃国官幣中社諏訪神社上社之図 石版 精行社銅版部 明治27年
長野県信濃国諏訪郡下諏訪町鎮座官幣中社諏訪神社 石版 袋題諏訪神社下社之図
西国第七番大和国高市郡東光山岡寺之図 木版
大日本東京芝三縁山増上寺境内全図 明治34年 石版 精行社銅版部 袋付
官幣中社箱崎宮境内之図 明治34年 石版
大日本日光山一覽ノ図一名独案内 明治24年 袋付 光陽堂
紀三井寺護国院全図 木版
岡山後樂園之図 明治30年 石版色木版 北村長太郎 袋付
山城国綴喜郡男山八幡宮全山図 銅版 明治11年 辻村豊富
お蔭ま為里伊勢みやげ 活版 明治 両面
摂州須磨浦一ノ谷真景細見 木版
陸前松嶋諸島瑞巖禪寺全図 明治33年 精行社銅版部 石版 袋付
官幣大社武蔵国一之宮氷川神社境内全図 石版 明治32年 成隣堂石版部
野州塩原温泉真図 明治22年 銅版 田代徳平
紀伊国和歌浦真景 銅版
霧積温泉図 明治23年 銅版 長生館
出雲大社並国造館之図 明治41年 石版 袋付 2枚
日本三景之一巖島旅客便覧地図 明治31年 色刷
栗林公園 明治32年 石版色刷
伊勢二見浦真景 明治22年 銅版
大和国法隆寺七堂伽藍真図 明治24年 銅版
上州伊香保温泉場真景 明治37年 石版 袋付
武揚金沢八景略図 金沢飛石金龍院蔵 木版色刷 袋付
洛東銀閣寺之真景 明治28年 管憲宗 石版
大日本日光山一覽ノ図 井上茂兵衛 石版 袋付

大日本全図 明治43年 最近10年比較表10テーマ

越中国立山禅定名所附図別当岩峯寺 木版

加州二俣本泉寺境内之図 木版

大谷派本願寺両堂及境内全図 銅版 明治22年

仮製版東京近傍1万分1地形図 明治42年 上野・三田・品川・王子・品川台場・世田谷・三河島・早稲田・洲崎・中野・向島・深川・下練馬・四谷・碑文谷・新橋・日本橋・千住以上18枚

最新調査樺太全図 明治38年 黒川柳右衛門

樺太全図 北日本汽船 戦前

観光北滿 哈爾濱鉄道弘済会 昭和15年 鳥瞰図 裏満州交通図

新潟市街図 昭和22年

大日本職業別明細図福島市若松市 昭和28年 東京交通社

盛岡市鳥瞰図 細密 盛岡観光協会

大日本仏法最首四天王大護国寺伽藍略図 明治銅版

十丑役鹿兒島隊長名簿 明治22年 瀬戸口利右衛門 銅版 鳥瞰図

松島瑞巖禅寺一山全図 明治27年 銅版

官幣大社宮崎宮御境内全図 石版 明治32年

京都市大谷派本願寺境内全図 石版色刷 明治28年

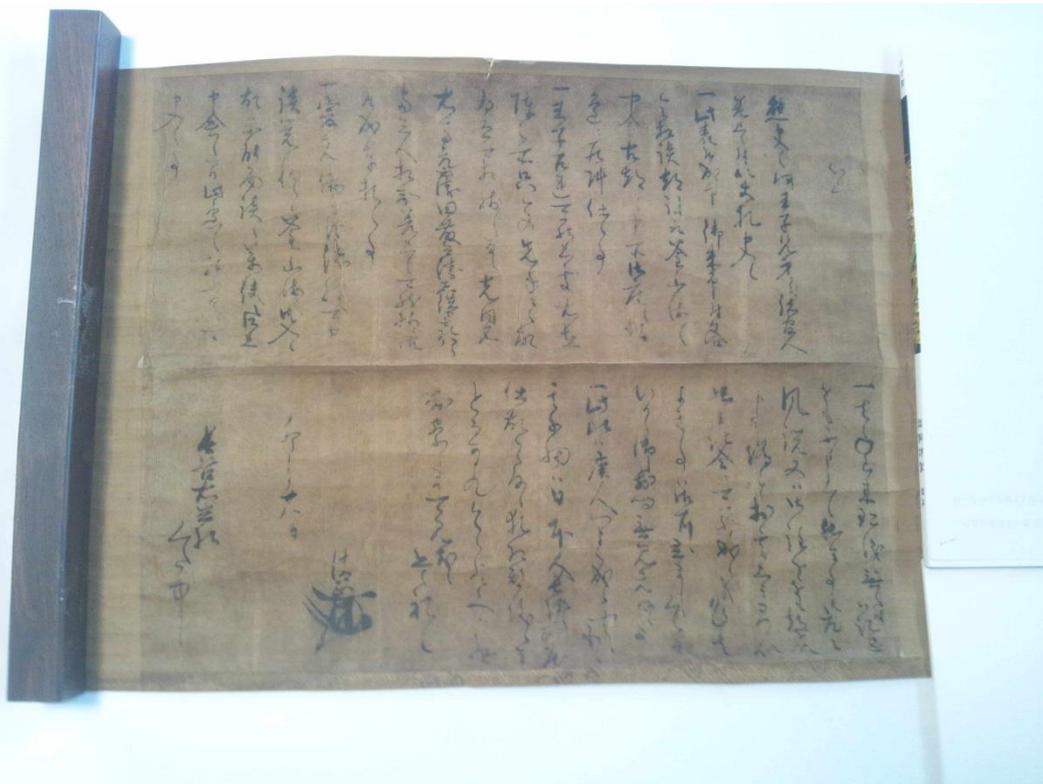
泉州堺広普山妙国寺 明治25年 銅版 蘇鉄

百年未来の大坂繁盛図 明治27年7月2日 大阪商況新報附録 細密鳥瞰図 100年後は1994年

地図文献 特別展堺復興元禄の堺大絵図を読み解く・

2・古典籍・古記録

加藤清正書状 軸外し 朝鮮役にかかわる書状、釜山記入



榊原式部大輔領分越後国頸城郡早川谷大堀切村古絵図古文書一式

大量の古文書、何れ検証したい。

松代藩主真田幸貫家老恩田頼母民矩貫実短冊 3通 1862年死去

3・印刷資料

4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

東京小学校教授雙録 明治11年 網島善吉 48 x 71 cm 和紙複製

江戸城役職、控間双六(仮) 手書き 44 x 64 cm

錦絵 小判 兒雷也豪傑評・白縫物語・忠臣蔵・西国奇談等 31枚

セル画 さざえさん・みなしごハッチ 2枚

京都名所案内明細図 石版 55 x 72 cm 明治28年

錦絵憲法御発布鳳輩還幸 明治22年 3枚続き 国利

和州当麻寺連枝大曼荼羅百分之一図 木版

日光写真 戦争18枚・忠臣蔵5枚・武将6枚

教育日本歴史画本能寺 大正9年 石版 田中良三

教育日本歴史画楠正行四條躰之奮戦 石版 田中良三 大正9年

教育日本歴史画忠臣義士四十七士 石版 大正9年

教育日本歴史画浅野内匠頭長矩田村邸切腹 大正9年 石版

教育日本歴史画忠臣義士四十七士 石版 大正9年

教育日本歴史画菅公筑紫之配所 石版 大正9年

教育日本歴史画曾我兄弟 石版 大正9年

日本歴史画武士道亀鑑忠臣義士四十七士十八條申開 石版 大正8年

引札 若松市材木町小林常三郎 曾我兄弟 石版

引札 米穀商横山半平 美人二人 石版

小牧山合戦における豊臣秀吉 大正10年 石版

型紙 7枚 ミヤコ友禅型紙 桂屋商店

上田蚕糸専門学校入学案内 昭和8年度 養蚕科・製糸科・絹糸紡績科

教育日本歴史画加藤清正之武勇 大正9年 石版 田中良三 虎退治

相撲取組四十八手一覽 木版カッパ刷

5・軍事資料・武器武具

日清戦闘画報 第3編 木版色刷 15図 明治27年

凱旋記念大観兵式御臨幸第一公式齒簿之図 石版色刷 明治39年

歩兵第六十連隊観兵式之図 石版色刷 明治45年 名古屋

陸軍特別大演習実況 大正2年 石版色刷 名古屋

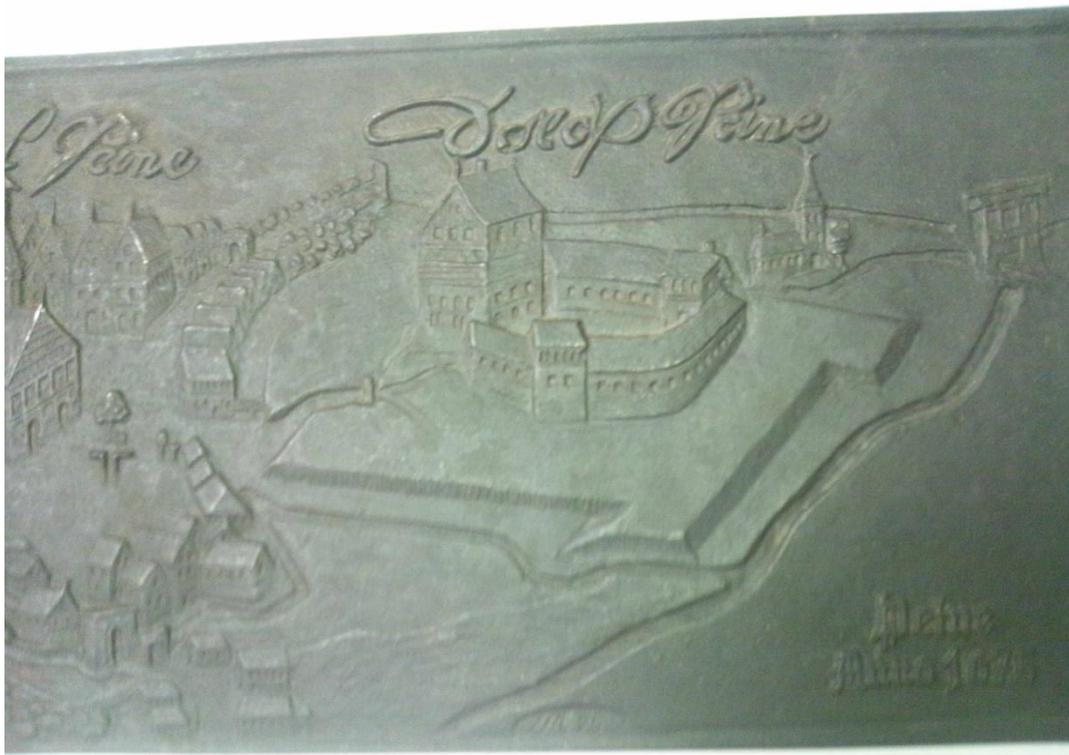
日清戦争図 明治27年 朝鮮平壤戦 銅版

6・城

近江国彦根城山之図 明治33年 木版色刷 袋付

天童城山古地図写 山頂に櫓3基、天童頼久公、山中郭に8武将配置、山麓に北目村、天童村、六日町、三日町、小路村とあり、「右者古絵図而天正12年10月□日落城」と記す。27 x 38 cm 墨書き

西洋城塞及び市街レリーフ 鉄製 21 x 35 cm x 8 mm 右下にPEFNE ANNO 1675とあり、上に題名があるも判読できない。裏にAHLMANN RENDSBURGとあり、ドイツレンツブルグで制作された。ドイツの要塞と考えられる。以下部分図。



高松城天主閣裝飾引札 左甚五郎彫刻 松平家より贈与 御旅館讃岐琴平町とらや惣五衛門



兵法城郭縄張図 彩色絵図 4枚
金城及名古屋名所図 明治43年 木版色カッパ刷

太閤絵巻 昭和12年 藤井秀五郎 三日普請・高松城の水攻・大阪城・桃山城等48景

城郭文献 深見城跡神奈川県大和市・戦国の軍隊・超雑学日本の城・歴群図解マスター城・長野業政と井伊直政箕輪城高崎城から彦根城へ・箕輪城物語・箕輪町史考箕輪城物語・文明自然アジュール女領主井伊直虎と遠江の歴史・二俣城鳥羽山城探訪マップ・徳川家康公顕彰四百年記念事業浜松部会記念誌・徳川家康天下取りへの道・浜松市文化財姫街道を歩く・二俣城の地形測量・**浜松城跡10**・**浜松城跡11**・浜松城主堀尾吉晴・中野城山居館跡発掘調査報告書・練馬城址遺跡調査報告書・名城発見・近江佐和山城彦根城・戦国古城と里・伏見城関連の石切り場について・仙台城ポケットガイド・出石の城を解剖する・**和田岬御台場御築造御用留**・常総中世史研究都市と城郭の地域史・福山城に見る歴史のロマン・伊那2015年11月・愛城研報告第20号・第33回全国城郭研究者セミナー・松本城城下町絵図集・高田開府四〇〇年・戦乱の空間第15号・狭山藩北条氏・彦根の城と城館・今治城特別展高虎と高吉・津の城跡50選・大谷吉継と西軍の関ヶ原・中世城郭研究創刊30周年記念号第30号・

城絵葉書 仙台名所天守台より市街・八木山橋・大橋より旧城跡一帯・天主台昭忠碑・青葉城大手門・**白河名所旧城跡**・高松古城址に昔を語る玉藻廟・現存せる熊本城宇土櫓・筑前水城址・熊本百景西南役以前の熊本城・熊本城宇土櫓・

検討中資料 主図合結記3種、防州山口城之図・羽州桐山古城図・築城図解・江戸城図・モンタヌス日本誌大坂城図・小松御城取図・信州戸石戦之図・信州高遠城攻防戦図・武州忍城之図・築城新法安政6年全7冊・

7・群馬郷土資料

大日本宝鑑上野名蹟図誌 昭和59年 全44巻タトウ入り 限定500部 明治34年元版

8・資料

あとがき

1・某書店古書目録に朝鮮役史料

朝鮮国降倭関係文書3点8000万円、萬曆22年1594年萱島木兵衛を朝鮮国官職に任命書類。他に豊臣5大老連署450万円、秀吉、政宗、氏郷、氏直、兼統、景勝、勝頼、久秀、義景、長慶、秀次、家康、家政書状と軒並み150万から500万円、すべてカラー写真入り、すごい一言です。なにも発注できませんでした。城絵図もこのようにでないかなあと願っています。

2・週刊日本の城、内容に感心するも大いなる違和感

昨年5月まで121週、毎週刊行されていた週刊誌に週刊日本の城がある。中も確認せず、121冊完結まで購入した。タイトルがあり、城郭名が表示される。その城郭名に伴う解説書と考えこれまで見ずに放置していた。昨日、何気なく内容を見て驚いた。まず、タイトルの城郭名はタイトルではなく、10数点の2-4頁、1-2枚の資料1点の名前に過ぎなかった。次に本を触っただけでばらばらになった。元々ばらばらにし、別売りの県別のファイルに綴じて利用するように考えられていた。確かに、城郭建築、歴史、縄張、合戦、古写真、探訪、解説とさらに解説も近世城郭だったり、古代城郭、中世城郭であったり、陣屋であったりと内容はバラバラ、まったく本としてのまとまりがなく、利用するにもどこに何があるのかわからない。まさにばらして再編集して初めて使える本と言える。本をばらす、毀すということに抵抗がある。ばらして再編集された本はもはや私家版であり、古書価はない。つまり、この本は本でなく、そこから情報のみ取り寄せる目的で編集されている、無作為にネットで検索し、情報を取る行為と似ているが、情報は一方通行である。城の本というだけで見ずに総額72600円もの本を購入するのもいがかかと思っただが、内容は最新情報と研究で満ちていた。内容に申し分はない、監修は小和田さんであり、中井君であったので2度びっくり、毀すことを前提にした本というのは使い捨てるゲームの感覚なのであろうか。違和

感をぬぐい去ることが出来ない。と思ったら最終巻121巻が索引特集だった。読者の賛否はどうであったのか、121巻まで2年半も続いたということは売れたのであろうと思われるが。

3・私事、10月21日に亡くなった妻の母来島弘子に本号を追悼号とします。

9月18日の骨董市最中に危篤の報に接し、親族を呼びよせました。10月20日まで見舞いに来たメンバーとふつうに話をしてましたが、21日昼に急逝しました。肺炎、心不全、老衰でした。9月24日の次男の結婚式はひやひやでしたが、新婚旅行から帰り、嫁さんも紹介できました。その前に華やかな結婚式の様子を話すと喜んでくれました。里帰り出産した長女の赤ちゃんにも会えました。それらを待っていてくれたような大往生でした。思えば、5年前、私の母が亡くなり、子供たちも独立し、共に過ごす機会が作れればと母に来てもらいました。お元気なころはともにドラゴンドラや渡良瀬溪谷鉄道、草津温泉に遊びました。妻の話し相手と思いましたが、2年程は動けなくなり、近隣を見ることもできなくなり、介護の生活で妻には苦勞を掛けました。人間的におおらかな方で、孫たちも来るたびに部屋に顔を出していました。これで親と言える人はいなくなりました。謹んで冥福を祈ります。

今年には長男の出産、転勤、長女の結婚、転居、出産、次男の結婚、転居、さらに長男の嫁さん入院による孫の対応2か月出張、長女の里帰り、火のついたような1年でした。家族が増えると心配事が増えます。子供配偶者6人、孫3人。人見知りか治って抱ける日を心待ちにしています。その間、陸軍省城絵図の出版準備、東京ビックサイト骨董ジャンボリ2回、平和島の骨董市5回、古書同好会目録3回、月に5-6回の競り市、ほとんど毎月発行したこの活動報告、公共機関への展示資料の貸し出し、目の回るような1年でした。精神年齢は20歳、吹き出す情熱と城への思いは消えることはありません。ただ、来年1月1日は古稀です。体力の衰えはどうしようもありません。体力づくりのプールも5月から多忙で行けていません。活動年齢を75才と考えるとあと5年しかありません。18万点の城郭資料のすべて、5年ですべて処分以外にないようです。印刷業界の未来にかけた42年、中学一年から57年かけた城郭対応、火の玉のような情熱でまっしぐらでした。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109 群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

携帯電話 090-2722-4689(しろはく)

FAX 027-315-4689(しろはく)

Eメール shirohaku@kym.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.shirohaku.com/>

ミュージアムショップ 群馬県古書籍商組合加盟

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴
